

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                         | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等   |
|----|----|-----|----|----------------------------|------|--|
| I  | 1  | (1) | ①  | 理念が明文化されている。               | a    | 理念は事務室に掲示されている。「保育を必要とする児童の養育・教育を行い、社会生活を営むための人格形成を図り、子どもの最善の利益を第一に考慮する。」という理念は創立時に作られ、運営や職員の行動規範となっている。                             |
| I  | 1  | (1) | ②  | 理念に基づく基本方針が明文化されている。       | a    | 基本方針は2点掲げている。<br>1. 現在を最も良く生き、望ましい力を基礎を培う。<br>2. 保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育園の特性や、保育士等の専門性を活かして援助にあたる。事務室に掲示し、パンフレットにも記載されている。 |
| I  | 1  | (2) | ①  | 理念や基本方針が職員に周知されている。        | b    | 職員会議等で理念や基本方針の周知の取り組みはされているが、周知状況の確認や、周知の継続的な取り組みは意識的にはされていない。   |
| I  | 1  | (2) | ②  | 理念や基本方針が保護者等に周知されている。      | b    | 入園時や保護者会で、理念や基本方針は説明しており、パンフレットには掲載されている。資料の工夫や地域への配布は取り組んでいない。  |
| I  | 2  | (1) | ①  | 中・長期計画が策定されている。            | a    | 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画する会議で策定されている。年度末にPDCAサイクルに基づき、一年の振り返りと共に新年度の計画を職員・関係者で取り組む。   |
| I  | 2  | (1) | ②  | 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。   | a    | 中・長期計画は、各年度の事業計画に具体的に反映され、月別の計画に反映されている。行事が終了した時点で振り返りを行われている。   |
| I  | 2  | (2) | ①  | 中・長期計画や事業計画の策定が組織的に行われている。 | a    | 中・長期計画や事業計画の策定は、関係者・職員と共に行われている。年間目標の他、月目標をそれぞれ策定され保育課程・食育・保健等それぞれ目標計画を立て、組織的に行われている。  |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                               | 評価結果     | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|----------------------------------|----------|---|
| I  | 2  | (2) | ②  | 事業計画が職員に周知されている。                 | <b>b</b> | 事業計画は、会議・研修において職員に説明している。月一回の職員会議を行い、共通理解を深める為に会議後は、それぞれ研修を行っている。                                       |
| I  | 2  | (2) | ③  | 事業計画が保護者等に周知されている。               | <b>b</b> | 年度始めに総会が開かれ、同時に保護者会も開催される。その時に園だより、くらすだよりを配布し、わかりやすい説明で事業計画を策定し、周知している。                                 |
| I  | 3  | (1) | ①  | 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。        | <b>b</b> | 管理者の役割と責任を示した文章はないが、「最後は私が責任を持つ」と職員に常日ごろ話している。計画の運営等は実施されているか意識的に取り組んでいるので、責任者の役割と責任の明示を文章化されることを期待します。 |
| I  | 3  | (1) | ②  | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。   | <b>b</b> | 地区ブロックの施設長研修会に参加している。変更された法令通知には必ず目を通してしている。遵守すべき法令のリスト化はされていない。  |
| I  | 3  | (2) | ①  | 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。     | <b>b</b> | 保育サービスの向上に向け、職員間とは自由に意見交換ができる職場になっている。組織内にサービス向上の具体的な体制を構築し取組まれることを検討されたい。                              |
| I  | 3  | (2) | ②  | 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | <b>b</b> | 財務関係は労務士が入り指導を受けている。労務に関しては、特に有休休暇は全職員が取れるようにしている。経営改善に関しても組織としての取り組み体制を検討されたい。                         |
| II | 1  | (1) | ①  | 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。          | <b>b</b> | 入園の申し込みは行政が窓口になっているので、選ばれる保育園としての対策がとれるよう、地域の特性や家族の在り方、変化などを把握をされ、事業計画に反映させていただきたい。                     |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                                   | 評価結果     | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|--------------------------------------|----------|---|
| Ⅱ  | 1  | (1) | ②  | 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。     | <b>b</b> | 園児の推移、経営状況分析の分析が行われている。変化がある時は職員に伝えている。理事長、主任保育士、会計責任者等を交えた経営会議が開催されることが望まれる。   |
| Ⅱ  | 1  | (1) | ③  | 公認会計士等による外部監査が実施されている。               | <b>a</b> | 公認会計士等による外部監査を2年に1度おこなっている。又、任意監査も行い、その結果に基づいて経営改善を実施している。専門家による指摘・アドバイス等により問題改善・新しい発見に繋がる。外部監査の結果や、公認会計士等の指導や指摘事項については職員に説明している。               |
| Ⅱ  | 2  | (1) | ①  | 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。             | <b>b</b> | 必要な人材は確保し、経験年数が長い。人事体制や人事管理に関する基本的な考え方など文章化等、組織としての整備を期待したい。  |
| Ⅱ  | 2  | (1) | ②  | 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。              | <b>c</b> | 人事考課は取り組めていない。組織管理としての考え方、人材育成のための人事考課の理解から取り組んでいただきたい。   |
| Ⅱ  | 2  | (2) | ①  | 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | <b>b</b> | 職員の有給休暇は全員が規定通り取れ、就業状況は担当者が把握している。急なお休み対応は、それぞれに応援しあっている。職員の相談機能も実際はされているが、相談機能の仕組みを明確に示し、相談しやすい組織体制を明示して頂きたい。虐待通告は、クラス担任の発見から施設長に報告する体制ができている。 |
| Ⅱ  | 2  | (2) | ②  | 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。                  | <b>a</b> | 職員の希望の聴取をもとに福利厚生センターに加入し総合的な福利厚生事業に取り組んでいる。有給休暇最長20日、職員の定期的な健康診断、社会保険への加入、運動会用Tシャツ、上靴など積極的に取り組んでいる。   |
| Ⅱ  | 2  | (3) | ①  | 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。            | <b>b</b> | 県や地区ブロック研修には参加している。組織としての人材育成や研修に関する基本方針を検討されたい。  |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容   | 評価結果     | 判断根拠・特記事項等   |
|----|----|-----|----|--|----------|--|
| Ⅱ  | 2  | (3) | ②  | 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | <b>b</b> | 一人ひとりの研修計画はされていないが、日常的には経験豊かな職員が実践の中で指導している。   |
| Ⅱ  | 2  | (3) | ③  | 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。                       | <b>b</b> | 研修報告や発表は行われているが、研修後の業務改善や次回研修・研修計画等の反映に繋げていただきたい。  |
| Ⅱ  | 2  | (4) | ①  | 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。                 | <b>b</b> | 実習の受け入れは、「保育士を育成する」という使命感により体制はできている。実習先と覚書をかわし守秘義務にのっとり整備されている。実地方法なども含めマニュアルの再検討をされたい。   |
| Ⅱ  | 2  | (4) | ②  | 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。                          | <b>b</b> | 実習生の育成については、積極的に行われ、1年目・2年目の実習生でカリキュラムを変え、それぞれ0歳時から年長児と分けて取り組んでいる。養成校との実習内容について連携し計画的に学べるよう、個々の実習生に対する研修プログラムを整備することが期待される。        |
| Ⅱ  | 3  | (1) | ①  | 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など子どもの安全確保のための体制が整備されている。      | <b>b</b> | 安全対策委員会はないが担当者は決めている。職員会議で検討・報告等はされている。事故発生時の手順や、職員周知もされている。安全の幅も広いのでリスクの種類別に、責任者と役割、管理体制を見直していただきたい。                              |
| Ⅱ  | 3  | (1) | ②  | 子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。                      | <b>b</b> | 施設見学の中で、安全性の有無は確認できましたが、日々の活動の中で危険箇所はないか、チェックリスト等の活用から危険防止の観察眼を高めて頂きたい。安全確保・事故防止の対応策を検討実施することで事故等の発生を防ぐと共に、ヒアリハットの研修記録を職員間で共有している。 |
| Ⅱ  | 4  | (1) | ①  | 子どもと地域とのかかわりを大切にしている。                              | <b>b</b> | 地域交流を広げるための地域との関わり方は、十分ではないが地域の老人会に参加したり、鼓笛隊を結成しているので地域に出向いて演奏したりしている。地域の行事等は保護者に伝えて各自が参加している。                                     |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                                       | 評価結果     | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|--|----------|---|
| Ⅱ  | 4  | (1) | ②  | 保育所が有する機能を地域に還元している。                     | <b>b</b> | 子育てで悩んでいる方へのアドバイスなど保護者との相談をその都度、電話・送迎時に受けている。又、ホームページ・冊子等で簡単に情報を得られるようになっている。             |
| Ⅱ  | 4  | (1) | ③  | ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。        | <b>b</b> | 保育士になろうとしている生徒が職場体験で来るときもあるが、ボランティア受け入れについては、異議や方針は職員に理解されているが、まだ整備されていない。                |
| Ⅱ  | 4  | (2) | ①  | 必要な社会資源を明確にしている。                         | <b>a</b> | 行政・保健所・児童館・嘱託医等それぞれお機能・連絡方法の情報を職員間で共有している。会議での説明を会議録で確認している。健康診断は年三回行われ、保護者に報告している。       |
| Ⅱ  | 4  | (2) | ②  | 関係機関等との連携が適切に行われている。                     | <b>b</b> | 医療機関・児童相談所・市子ども課等との連携は確保されているが、これからネットワーク化を図っていく予定である。                                    |
| Ⅱ  | 4  | (3) | ①  | 地域の福祉・子育てニーズを把握している。                     | <b>b</b> | 保護者からの意見等は、電話相談にて担当がまず受けて答える事ができることであれば口答で答えている。答えることができないものは、就任・園長へと上り上がっていく。職員は、共有している。 |
| Ⅱ  | 4  | (3) | ②  | 地域の福祉・子育てニーズに基づく事業・活動が行われている。            | <b>b</b> | 保育所は、地域のニーズに基づいて一時保育サービス・育児支援等相談に応じている。一週間前より電話での予約が必要である。把握されたニーズが長期計画に反映されるよう検討が必要である。  |
| Ⅲ  | 1  | (1) | ①  | 子どもを尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。 | <b>a</b> | 年齢別計画表があり、年間計画・月間計画・週間計画・日誌に基づいて振り返りがあり、見直しもしている。職員間で共有されている。                             |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                                 | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|------------------------------------|------|---|
| Ⅲ  | 1  | (1) | ②  | 子どものプライバシー保護に関する規程又はマニュアル等を整備している。 | a    | 子どものプライバシー保護に関して職員間で周知され、取り組みが行われている。トイレの構造上は空いているが下は外から見られないようになっており、汚れた場合も、専用のシャワー室の場所が整えられている。   |
| Ⅲ  | 1  | (2) | ①  | 保護者の満足の向上を意図した仕組みを整備している。          | b    | 保護者の意向に配慮するには、保護者会や総会をはじめ、日々の送迎時等に意見を求めたり、子どもの意見が具体的に保育サービスの改善に結びつくようにしている。相談ポスターは正面ホールに掲示されている。子育てに悩む保護者が増えており、法の改正もあり、相談機能の仕組みを整備されることが望まれる。                |
| Ⅲ  | 1  | (2) | ②  | 保護者の満足の向上に向けた取り組みを行っている。           | b    | 保護者の満足の向上にむけ、保護者会からの役員会の協力のもと、行事がある時は、集まり参加し意見の交換を行っている。保護者が必要とする情報も役員会で提供されている。  |
| Ⅲ  | 1  | (3) | ①  | 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。          | b    | 保育園としての相談機能は公示していないが、保護者が相談や意見を述べやすいよう、どの保育士に相談してもよく、子どもがお昼寝をしている時間帯や送迎時、電話相談等環境整備されている。  |
| Ⅲ  | 1  | (3) | ②  | 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。         | b    | 苦情解決の体制を整備している。第三者委員会を設置しており、理事会は、年三回行われ、苦情があればその都度フィードバックしている。又、目に留る掲示板等に相談機能の周知を図り、苦情やほめられたことも貼り、保護者・関係者に知らせることが望まれる。                                       |
| Ⅲ  | 1  | (3) | ③  | 保護者からの意見等に対して迅速に対応している。            | b    | 保護者からの意見等は、対するマニュアルは整備されていないが、意見や提案はその都度対応している。保護者からの意見等に対する手順やマニュアルを整備・改善されることが望まれる。   |
| Ⅲ  | 2  | (1) | ①  | 保育サービスについて定期的に評価を行う体制を整備している。      | b    | 保育士会からの保育士自己評価チェックリストには、子育てに関して10項目・保護者に関して10項目・専門職に関して11項目についてチェックしているが、古いデータであり更新はされていない。現在は、第三者評価の自己評価を定期的に行うことが求められている。評価担当部署を設置し、分析・検討をされ、改善への取り組みが望まれる。 |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容                                     | 評価結果     | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|--|----------|---|
| Ⅲ  | 2  | (1) | ②  | 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。        | <b>b</b> | 今回の第三者評価受審にあたり、自己評価について話し合っていることが議事録に記載されている。職員会議等で職員の参画により評価結果を分析し、課題を明確にし、継続して自己評価がされることを期待される。             |
| Ⅲ  | 2  | (1) | ③  | 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。               | <b>b</b> | 各クラスの改善項目は話し合っている。クラス別の問題点について会議録には記載されているので、それらをまとめて組織としての取組に発展されることが期待される。                                  |
| Ⅲ  | 2  | (2) | ①  | 個々のサービスについて標準的な実施方法が文章化されサービスが提供されている。 | <b>b</b> | 個々の保育というより、集団の保育はされているが、個々のサービスについての標準的な実施方法の文章化は作成されていない。個々があって集団なので、標準的な文章化を作成し、質の統一、再検討の仕組みを構築されることが期待される。 |
| Ⅲ  | 2  | (2) | ②  | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。          | <b>b</b> | 個々のサービスについて標準的な実施方法について職員参画のもと、定期的に見直しを行うことを期待される。  |
| Ⅲ  | 2  | (3) | ①  | 子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。          | <b>a</b> | 子どもの個別の状況やサービスの実施状況は、定められた様式に手書きの記録で詳細に、記録内容も温かさを感じる内容でよく書かれている。  |
| Ⅲ  | 2  | (3) | ②  | 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                 | <b>a</b> | 個人情報に関する記録等は職員室の鍵のかかる書庫で管理され、「文書保管年限」に基づいて文書の管理をしている。   |
| Ⅲ  | 2  | (3) | ③  | 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。             | <b>a</b> | 子どもの状況は児童票に記録され、担当職員間で情報の共有が図られている。必要に応じて職員会議で全員に情報を伝えている。  |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容  | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等   |
|----|----|-----|----|---|------|--|
| Ⅲ  | 3  | (1) | ①  | 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。             | a    | 利用希望者に対するサービス内容の情報提供は、組織や保育サービスがわかりやすく説明された印刷物やホームページを作成し公開している。見学や体験利用者の希望は受け付けている。 |
| Ⅲ  | 3  | (1) | ②  | サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。               | a    | 利用開始にあたり、料金等については、行政から説明されている。年度末に入園説明会を行い保護者に解りやすく、具体的に説明して同意を得ている。                 |
| Ⅲ  | 3  | (2) | ①  | 保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。 | a    | 保育所の変更・家庭への移行について、行政(市役所)より連絡を受け変更がある場合は、その都度対応している。保育が終了した後もその都度相談に応じている。           |
| Ⅲ  | 4  | (1) | ①  | 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。                  | a    | 統一した様式に手書きで丁寧に記録されている。アセスメントも定期的に見直しされている。   |
| Ⅲ  | 4  | (1) | ②  | 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している。                | a    | クラス毎の指導計画に照らし子どもの個別の課題を場面ごとに個別指導内容として明記されている。  |
| Ⅲ  | 4  | (2) | ①  | サービス実施計画を適切に策定している。                       | a    | サービスの指導計画責任者は設置され、基本方針に基づき計画作成されている。一人一人の着目した計画作成、また、関係職員の合議をえており、組織としての手順が定められる。    |
| Ⅲ  | 4  | (2) | ②  | 定期的に指導計画の評価・見直しを行なっている。                   | a    | 指導計画の評価は各月クラスごとに行われ、計画の見直し期日が記載されている。  |



福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容   | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|--|------|---|
| IV | 1  | (1) | ①  | 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                    | a    | 通路・ホールに明かり窓が備えてあり、空気の入替、晴天時には開口され、いつも換気に配慮され、寝具は月1回家庭で洗濯してもらい、シャワーを完備し、汚れたり汗をかく時期は使用し、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。   |
| IV | 1  | (1) | ②  | 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。                      | a    | 設備は広く快適な環境である。生活の場に相応しく、子どもが不安になった時は、保育者が身近にいて安心感を与えている。食事のための空間は、いす・机を移動させて楽しい雰囲気を作り出している。乳児室は畳のスペースがありました。  |
| IV | 2  | (1) | ①  | 食事を楽しむことができる工夫をしている。                           | a    | 食事時間は、食事のご挨拶・メニューの紹介・いただきますの元気な挨拶があり、雰囲気づくりに配慮し、子どもの負担にならないように残さず食べることを強制しない。子どもは、各自、箸・コップ・ナプキンを用意し、食べ物に興味を持つような旬のものや季節感のある食材を取り入れている。食べられる範囲の盛り付けで、おかわりは3回まで自由にでき、残食はなく、お話しながらの食事風景は楽しそうでした。 |
| IV | 2  | (1) | ②  | 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。   | a    | 毎月の献立表を作成し事前に配布している。食材の安全性、カロリー等を細かく解りやすく表に示し、発育過程の食事の受容性を保護者に伝えている。サンプルは提示されていなく、保護者にも食育教育の面から、レシピの提示や写真などは好評のようなので取り組みを期待される。   |
| IV | 2  | (1) | ③  | 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。 | a    | 食物アレルギー等の子どものに関して、食物アレルギーの診断書もあり、専門医の指示のもと適正に対応しておりました。子どもたちも自覚しており、どの食材がダメなのかを理解していました。  |
| IV | 2  | (1) | ④  | 必要とされる栄養摂取量を確保する献立が作成されている。                    | a    | 毎月お便りだよりに材料品目も多く、カロリー計算もできており栄養摂取量を確保する献立表を報告している。  |
| IV | 2  | (1) | ⑤  | 「食育」に取り組んでいる。                                  | a    | 職員間では共通理解をし協力体制が取れている。年間計画を立案し実施されていた。園だより「食育」に関してのことを記入し、保護者に理解をしていただきたく報告している。食事中も、子ども達は楽しそうにお話ししながら完食しておりました。「先生もいただきます」と挨拶すると、「どうぞ召しあがれ」と、子ども達の元気な声に、食事を通して感謝の気持ちで育まれていると感じました。           |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容  | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等  |
|----|----|-----|----|---|------|---|
| IV | 2  | (2) | ①  | 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 | a    | 健康診断書等マニュアルがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じ実施している。保健室にベッドがあり、体調の変化、けが等について留意して保護者にその都度報告している。<br>当園時に各クラスで先生方が出迎えて、健康チェックをさりげなくしておりました。保育中の健康管理マニュアルは未整備です。                     |
| IV | 2  | (2) | ②  | 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。               | a    | 保育園に入所するまでに健康診断をすることになっている。その後、年2回健康診断を受診している。家庭保育に有効に反映されるよう保護者に報告している。異常があればその都度保護者にも報告し、職員間でも周知している。   |
| IV | 3  | (1) | ①  | 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。                         | a    | 子どもに解りやすい、おだやかな言葉で接している。暖かく受容し適切な保護・世話をし安心感・信頼感をもって活動している。泣き声もなく、抱かれている子もあり、お昼寝の時はトントンしたり、乳児クラスの元気な子は廊下を走るなど、食事中は元気いっばいの姿ですが、集中力をもって楽器の練習なども、気持ちを切り替え協調性が育まれておりました。 |
| IV | 3  | (1) | ②  | 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。           | a    | 一人ひとりの子どもの状況に応じてよく対応し、トイレに行くことを強制せず、子どものリズムに合わせている。自主性を重んじ、子どもの心を傷つけないように配慮した対応をしている。<br>お昼寝時間は寝間着に着替え、手洗いも良く泡をたて洗うことができていました。                                      |
| IV | 3  | (1) | ③  | 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。                            | a    | 自由保育ではないが、子どもの発達段階に応じた玩具や遊具があり、自由に遊べる空間が確保されている。<br>大きな広間もあり、空調完備、危険早期発見の監視カメラも設置されており、広い園庭には6カ所の水まきの水道が設備されています。   |
| IV | 3  | (1) | ④  | 身近な自然や社会と関わられるような取り組みがされている。                        | b    | 庭園は広すぎるくらい広く、大きな遊具も小さく見え、園庭全体が砂地で砂遊びやころんでも大きな怪我はないようだ。夏は、各クラスにあるプールで水遊びをしている周囲は自然が豊かである。動植物に接する機会としての、植物栽培や小動物の飼育は組んでいない。   |
| IV | 3  | (1) | ⑤  | さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。                       | a    | 3歳より楽器に触れあい鼓笛隊の練習をはじめ。様々な表現活動を通して、こころ豊かな情操教育を積極的に取り組んでいる。   |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容   | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等   |
|----|----|-----|----|--|------|--|
| IV | 3  | (1) | ⑥  | 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。                       | a    | 黙り込んでいる子はいなく、お互いによく声掛けをする姿がありました。当番はやや緊張気味でもあるが、しっかり大きな声で役割を果たしていました。先生方のさりげない低い声での注意や呼びかけが、穏やかさを感じました。遊びや保育所内外活動を通し、一人ひとりが日々成長するように配慮されている。                 |
| IV | 3  | (1) | ⑦  | 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 | a    | 外部講師による英語でゲームや挨拶を楽しむ場があり、異文化に触れあっている。ある子どもが評価者に質問すると、その質問に関連する質問を重ねることができ、質問内容が発展するような場面がありました。普段から自分の意見を言うことができ、人の話を聞くという待つ姿があり、文化の違いやお互いを尊重する心が育つよう配慮している。 |
| IV | 3  | (1) | ⑧  | 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。          | a    | 知らず知らずのうちに固定的な役割分担意識を植え付けないよう、先入観を持たないよう心掛けている。性差への言動も配慮するようにしている。男子には先入観はないが、場面により、めそめそするなど言いたいときがある。   |
| IV | 3  | (1) | ⑨  | 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。                | a    | 入園は生後8か月過ぎてからなので、授乳の場面はなく、離乳食を食べ一人飲みもできている。量のコーナーではゴロゴロしたり、抱っこや絵本を読む場面も拝見しました。常に一人は育児室におりSIDSに関する観察はできています。  |
| IV | 3  | (1) | ⑩  | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。           | b    | 朝7時より夕方6時30分までの保育である。一人ひとりの子どもの要求に応じて抱いたり、声をかけたり、ゆったりと接している。異年齢の子ども同士で遊んだり配慮されている。子どもの状況に応じて、職員間の引き継ぎも適宜行われている。  |
| IV | 3  | (1) | ⑪  | 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。               | b    | 事例がないが、障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。障害児保育に関する研修も受けている。  |
| IV | 4  | (1) | ①  | 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。              | a    | 特に個別面談はしていないが、必要であればその都度担任に話しをもちかけてくる。送迎時に話をしたり、連絡長に記入したりして日常的に情報交換を行っている。   |

福祉サービス第三者評価結果(個票)

| 対象 | 分類 | 項目  | 細目 | 内容  | 評価結果 | 判断根拠・特記事項等   |
|----|----|-----|----|---|------|--|
| IV | 4  | (1) | ②  | 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。                           | a    | 入園時に把握した家庭状況の情報は記録はされ、記録の保管・管理は適切に管理されている。   |
| IV | 4  | (1) | ③  | 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。    | a    | 発達過程において園だより等(年4回発行)に保育園での子どもたちの行事や生活ぶりを保護者に伝えている。保育参観等を通して、保護者と職員との共通理解を得るための機械設けている。             |
| IV | 4  | (1) | ④  | 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。        | b    | 比較的に虐待を早期発見しやすい面があるので、マニュアル作成や研修参加により、観察の視点を深めていただきたい。見せられる心理的虐待もあるので、子どもの言動など職員間の共有をさらに深めていただきたい。 |
| IV | 4  | (1) | ⑤  | 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 | a    | 虐待通告は、クラス担任の発見から施設長に報告する体制、行政との連携ができています。  |
| IV | 5  | (1) | ①  | 一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。              | a    | 一時保育のための担当者が決められており、子どもの日々の様子も把握している。保護者ともコミュニケーションをとり、通常保育との子どもとの交流に配慮している。                       |
| IV | 6  | (1) | ①  | 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。                       | a    | マニュアルに基づいて、調理場・水周りの衛生管理がされている。担当者一覧表も作成され、衛生管理マニュアルを作成し、職員にも周知されている。                               |